

七月読みとりおけいこ（中）①

名前（　　）

ぎおんまつりが始まりましたね。

そもそもこのおまつりは千年以上もまえに六十六本の

ほこ（日本国内の国）をたてたのがはじまりです。このころは大じしんもあり、富士山がふん火し、うえじにする人も多く・・・とたいへんなことになつていたのです。

そこで人々はとりあえずつゆの大雨を止ませてほしいとねがいました。^{かみがわ}鴨川などがあふれるとぼつとん便所の中があふれ出て、井戸水とまざります。そんな水を飲むとなかをこわします。伝せん病もはやりますが、むかしは病院もないでそのままたくさん死人が出ます。何万人も亡くなるわけです。もちろんこう水で流される人や、家を失う人もいたでしょうね。今のようなしつかりしていぼうはありませんから。

むかしの人は雨をふらせたり止ませたりするのはりゆうじんさま（ドラゴンボールのシェンロンみたいなもの）だと思っていました。りゆうじんさまの大こうぶつが馬だとも思っていました。

そこで、古代、雨を止ませてほしいときには生きた馬をいけにえにして川に放り込んでいたのです。

そのなごりがぎおんまつりにものこっています。馬の板をぶら下げた「こまがたち」）というおちごさんが久世の神社からやってきてこそぎおんまつりがはじまるのです。この神社の氏子さんの多くはみょう字が川勝さんといいます。^{はたのかわかつ}秦河勝の子孫といわれる方々です。^{はたし}秦氏は水をコントロールするのがうまい人たちで、あらし山に大きな堰^{せき}を設けたことでも知られています。それで渡月橋^{とげつきょう}あたりの保津川と桂川の間のぶぶんを大堰川^{おおいがわ}というのです。

① 何の話でしょう？

）のはじまり

② ぎおんまつりのはじまりは何というものをたてたことですか？

③ この時代日本国内にいくつの国がありましたか？

④ このころにふん火していた山は何ですか？

⑤ 千年前にはなかつたものはどれですか？

⑥ 井戸（　　）便所（　　）浄水場

⑦ むかしの人は雨をだれがふらせると思っていましたか？

⑧ ⑨ ⑩ 馬の板をぶら下げたおちごさんをなんといいますか？

⑨ あつているものに○をつけましょう。

（　）りゆうじんさまはお便所のかみさまだ。
（　）りゆうじんさまはほんとうにいる。

（　）りゆうじんさまとシェンロンはにている。

⑩ 上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

音読サイン→

できばえは？

